

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社下町番地（電話六三〇番） 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

定部金貳圓 廣五號十二日刊休 日曜大祭 福島縣石城郡平町長崎町三五番地 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

第十月十五日夕刊

常盤論壇

讀書に就いて

丹生

◇文壇ゴシップ氏報じて曰く「現代の讀書界は大衆文藝の獨り舞臺だ、さうして印税と原稿料で昔ホク／＼だ、その證據には氏外二名は一萬圓級の自動車を持つてゐる、T氏一夜の遊蕩費三百圓は珍らしくない、U氏は一寸牛肉を食ふにも高價な葡萄酒を使ふ、A氏は一家残らず有名な避暑地の二等ホテルに一夏滞在した等々々々」と話半分として驚くべき豪奢な生活振だ

◇然し靜かに考へて見た時

彼等の作品がその豪奢な生活に相應した價值を持つてゐるだらうか、貴い金が餘りにあつてなくされて居はしまいだらうか、或る人は彼等を評して空想を描くに巧な、自己催眠に罹り易い誇大妄想狂に近いものだと言つてゐる、あまりに酷評ではあらうが全然當つてゐないことではない。

◇しかもこれ等の作品に對し更に又彼等のその豪奢な生活を支持してやる爲めに吾々讀書子が莫大な負擔をなすつゝあることは考へなくてはならぬことだと思ふ

彼等の稿料の不相應に高價なことは其の本が賣れ行き

がよいからで結局我々がその費用を分擔してゐる譯なのだ

◇エマーソン曰く「書は三年を経たるものを讀べし」と廣告や評判に迷つてくだらない書籍に手を出すことは慎むべきだ我等が汗で得た金は彼等が酒肉に酔ひしれて書いたものと交換すべく、餘りに貴過ぎることを考へるべきだ



肺病 ロクマクの妙薬
ホシアンチツベルケン
（五分分定價一圓八錢）
過去十有年幾多の人を救へる東洋一の此靈藥
肺を病む人 迷ふ勿れ 疑ふ勿れ 信賴せよ
平町三丁目
ホシチエーンストア
電話四二九番

大存 共榮 簡易の
△絶へず會員を募ります
△何時でも申込下さい
△無盡商會
△本社福島市本町
△支店平町中丁一四
許意と堅實 趣味の

外科一般
耳鼻咽喉科
女性病科
×光線科
赤心堂病院
田町 電話四七五番

揃ひました！
いろ／＼な冬の洋服が
―値段は二割乃至一割安―
立襟上下 拾圓位ヨリ
脊廣三組 吉圓手鏡ヨリ
オーバ 六七圓位ヨリ
其他變つたいろ／＼な冬の
洋服が澤山揃ひました
なかや洋服店
平町二丁目（電二〇三）

募集
草履製造御賣販賣人四五名
日收四五圓 十三歳以上廿四五歳迄
十三歳より十八歳迄は多大手當を給す
（場所）東京
保證人要求 履歷書持参本人來談に限る
チクオンキ店 三幸堂
和洋樂器店 三幸堂
平町二丁目

鳥牛 豚
カフエー松ケ岡の
鍋御一人前 金五十錢
出前モ致シマス
松茸の料理種々季節の温い御料理と御飲物
カフエー松ケ岡
公園口（電呼六五二、二三三）
有給女給さん入用

脳と生殖器の薬
エキスピリン
夜良く寝れぬ人
ごうも頭がボンヤリする人
老衰を嘆く人
記憶減退の人
性力弱き人
特約店 平町田町
藥劑士 福美藥局
電話五五一番

名特 手入 拭手 提價 吉田屋 染工場
（電話五五八番）
振替仙台五三三八番
徒弟入用 十三四歳位ノ者四五名

君は、いゝ型の
洋服を求めたね!!!
眺かへ?
いや君、コレは
例の「ソレ」
正札堂



新らしく磐城平に生れた
寶來の牛乳パン
何んといふ時代にふさわしいパンをせう。滋養を多量に含む優良牛乳其他玉子等すべて營養に富んだものが澤山ふくんでおいしパンです。

品 チョコレートパン 文化辨當特定金十三錢
クロームパン 寶來の本食一ケ
ブシヤムパン 牛乳二デシリットル
ブドーパン 角砂糖二ケ

◆御注文の節は迅速に配達致しますから御用命の程を
寶來パン製造元
平町新川町十五番地（電話呼四三七）

御料理開店披露
鳥牛、豚……なべ
簡單で上品な氣の利いた料理を廉價にて
差上げます
文化的な平土間より二階三階迄開放し
て有りますから御隨意に御利用下さい
ごこまでも親切丁寧を以て奉仕的の努め
ます
平町仲田町角（舊郡役所通）
福壽美
（元福住館）電話壹四五番

内科 小兒科 花柳科
（需應院入）
藤沼醫院
平町紺屋町
電話園五〇七番

郷黨追慕の的となつて

けふ白井翁の盛葬

南理埋立地の大葬儀場は

遠近數千の會衆で埋まる

菊月なかの五日秋天漸く蕭々として今日を警城の生める偉人白井遠平翁葬儀當日である、この日西北の風時々雲りとあつて空模様定めならず朝來灰色の天に晩秋の風蕭々たるべき天気豫報である、翁の靈は午前九時と云ふに喪主博之氏捧持の下に自動車に以て南理埋立地の葬儀場に移され以下の遺族親戚一同亦數臺の自動車に分乗して式場に至り喪主を中心として十時から一般會葬者の弔問を受けた地方副利開拓の功勞者たる遠平翁を送る最後の日として平町を

希望者のない陪審員

異議申立は十五日まで

平町では何人がなるか

陪審員名簿は各市町村に於て作製し去る八日までを閱覽期日と定め異議申立の期間は来る十五日までであるが陪審員となれば命せられた裁判の

決定まで

下裁判所内の宿舎に在つて外出や接見も禁せられると云ふので名譽の如き多い世の中でも之を希望するものも無く記名が落ちたからとて異議の申立をするものもないらしく資格に依つて登録された人は勿論異議の餘地がないか

郡梁川町字中町生れ當時石城郡好間村大字北好間字板木澤居住土工村田與七(〇)は同村小田炭礦新斜坑運炭線路工事に土工に雇はれてゐたが近頃腦を患ひ不眠症となり前途を悲觀し精神に

二百數十名の従業員

一齊に罷業断行

職首三十餘名の復職拒絶から

悪化した品川白煉瓦會社を協議し罷業参加人員は湯本工場百七十餘人、赤井工場五十餘名、平工場十餘名といふ全従業員のストライキで製品は一つもなく休業同様である

野崎若松兩派

運動員取調

田子氏告訴事件で

石城郡に於ける過般の縣議選舉に際し推薦狀の關係から中立候補田子健吉氏から選舉妨害下訴へられた新縣議員野崎滿藏、若松三兩氏に係る事件は平檢事局の手により調査中であるが去十三日野崎派の山野邊義政氏



庭家

手の化粧法

手に用ふる白粉には水白粉を薄めたものがよるじいのですが、手が餘りあれてゐる場合とか儀式の服を着た時とか云ふ場合には一たん

外二名並に若松派の草野三郎氏檢事局に召喚取調べを受けたが事件は愈々進展の模様である

現役當籤者

平町から十四名

平町から本年度壯丁検査によつて合格し抽籤の結果此程現役兵證書を授與され入營の決定せるもの左の如く現役兵歩兵六名騎兵二名砲兵二名工兵一名鐵道兵一名飛行兵輜重兵各一各合計十四であるが輜重輸卒の入營者は未だ決定してゐないと

磐炭炭炭合

併十四日許可指令

石城郡磐城炭礦と茨城探炭の合併は十三日附小川鐵道鈴木内務兩大臣許可の指令十四日日本縣經由で交付された

石城郡内の梨果品評會

きのよ褒賞授與式

石城郡農會主催石城郡第二回梨果品評會即賣會は十四日午前十時から平町元郡役所會議室に於て開會され稲田農學試驗場分場長審査長となつて審査の午後一時から即賣をなしたが出品點數は九十七點でその中入賞したものは左記四十名である尚ほ褒賞授與式は十五日午後一時から開催する

- 一等 平窪村 金成庄助
- 赤井村 鈴木美信
- 二等 平窪村 鈴木定雄
- 外七名
- 三等 平窪村 根本留吉

パンと果物

僅か四時間の睡眠、柿田氏元氣、語る

百四十里を踏破して無事福島に於て柿田進之進は流石昔軍隊で来たへたげあつて少しの疲れも見せず頗る元氣で記者團に次の通り語つた

「出發以來今日まで十二日は馬も私も元氣です殊に私は出發前尻に腫物を出来たのでしたが旅を續けてゐるうちにそれが自然に治つてしまひまし

仲秋の旅より

平商關西旅行團

紅に染む二見の曉景、目を醒し、六時半頃、パンのやうな景色を窓外に受けて奈良に向ふ。名も床しき笠置驛を過ぎ、一時半過ぎ幼い頃から美

夢物語

第三信

し夢物語として親んで来た奈良に着く。先づ猿澤の池を訪れ委女の衣懸柳を見、春日神社に詣つ。數知れぬ燈籠が朱染の美しい社殿を廻つてゐる。手向山大瑞殿を拜し、なかなかな草山に上り、憩ひ群れ来る可愛いらしい鹿と寫眞をとる。二月堂三月堂に廢墟の香を臭ぎ、東大寺で大枚五錢を投じて力餅を食へ大鐘をつき、奈良の大佛を見る、こゝを辭し興福寺、五重塔に往時を偲ぶ、廢都奈良は吾々の詩情をそゝる、充分であつた。四時三十分大阪に向ひ湊町下車、直ちに宿舎に入り夜は心齋橋、千日前、道頓堀の賑はいに旅愁を慰む

止みもなく降つて旅の子

第四信

止みもなく降つて旅の子をじみじみと淋しさを感ぜしめた。天王寺公園、四天王寺の鐘を見、電車で三越デパートを見學し、商品陳列館を訪れ、直ちに大阪城に向ふ。雨は漸く止んで煙の都、川の眺めた、城の石垣に魄を奪はれて噤然としてゐるものさへあり、豊臣の昔古英雄の偉業を偲んで久しく三嘆するを禁じ得なかつた。更に造幣局を見學し、懐かしい大阪市を後にして京阪電車にて市都に向ひ、桃山御陵を拜觀、更なる電車を驅つて三十三間堂に至り、暮色漸く包み銀燭點々たる頃旅宿いろは館に着く。意氣いよ／＼昇りしるのびやかな京の夜を漫歩す